

事業評価票

105	中小企業の外国人材受入支援事業 （「グローバル人材確保支援事業」「中小企業と留学生の交流支援事業」） （産業労働局雇用就業部／一般会計）	事業開始	平成 27 年度
		事業終期	平成 31 年度

【局評価】

1 どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか 【グローバル人材確保支援事業】 ○ 「東京圏国家戦略特別区域」として指定されたことを契機に、民間と連携してグローバル人材と企業のマッチングを促進する仕組みを構築し、プロジェクトの着実な推進と東京の国際化を加速させる事業として平成27年度に開始した。 【中小企業と留学生の交流支援事業】 ○ 25年11月のアジネット会議を契機に、外国人材確保のニーズが高い中小企業と日本での就職を希望する留学生双方に対し、雇用・就業情報の提供を行うとともに、相互理解を促進する事業として27年度に開始した。	根拠法令等
--	--------------

2 どのように取り組み、どのような成果があったか ○ グローバル事業での主な取組 ・東京での働きやすさや魅力等を発信するウェブサイト「東京で働こう。～TOKYO CAREER GUIDE～」を作成し、海外に向け広く発信 ・東京で働くことへの関心を高める海外イベントの実施（ベトナム、インドネシア、台湾） ・アジア11か国に「東京で働こう。」相談デスクを設置 ○ 留学生事業での主な取組 ・経営者向け海外人材活用等のセミナー 4回 ・留学生向けの就職関連セミナー 21回 ・中小企業と留学生の交流会・企業見学ツアー 各3回 ※取組実績は平成27年度

【財務局評価】

3 どのような課題や問題点があったか ○ 既存2事業が対象としているグローバル人材と留学生は、中小企業が求める外国人材ということで共通し、また、採用・受入の課題も重なる部分が多いことから、両事業の共通部分の集約化が必要であった。 ○ これまでの事業では、国内在留の高度外国人材は支援対象としていなかったが、これらの人材も企業が求める即戦力の外国人材であると考えられることから、支援対象の幅を広げる必要性が出てきた。 ○ 海外展開を図る企業をはじめとして、中小企業においても外国人材のニーズが高まり、一方、日本で就職を希望する外国人材も年々増加しているが、これまでの事業では、セミナー等によるノウハウの付与や情報発信に止まっているため、中小企業と外国人材とのマッチングにつながる支援を拡充する必要が出てきた。

5 財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか ○ 実績やニーズを踏まえ、既存の2事業を終了し、新たに「中小企業の外国人材受入支援事業」として再構築することで、中小企業の外国人材確保・活用を図ることが可能である。
--

4 局として、事業をどうしていきたいか 拡大・充実 <u>見直し・再構築</u> 移管・終了 その他 ○ グローバル事業と留学生事業を統合・再構築して、「中小企業の外国人材受入支援事業」として事業を一本化することにより、経費の節減など、より効率的・効果的な事業運営を可能にしていく。 ○ また、国内在留の高度外国人材も新たに対象に加え、中小企業と外国人材双方に対する採用や就職活動に関する情報提供や両者の交流等をより一層進めていく。 ○ さらに、中小企業と外国人材のマッチングを促進するとともに、相互理解を深め、採用・就職早期のミスマッチ防止を図るため、「インターンシップ」と「合同企業説明会」を新たに実施し、中小企業における外国人材受入れを支援する。														
<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">歳入</td> <td>27年度決算額</td> <td>— 千円</td> <td rowspan="3">歳出</td> <td>27年度決算額</td> <td>86,118 千円</td> </tr> <tr> <td>28年度予算額</td> <td>— 千円</td> <td>28年度予算額</td> <td>79,457 千円</td> </tr> <tr> <td>29年度見積額</td> <td>— 千円</td> <td>29年度見積額</td> <td>230,668 千円</td> </tr> </table>	歳入	27年度決算額	— 千円	歳出	27年度決算額	86,118 千円	28年度予算額	— 千円	28年度予算額	79,457 千円	29年度見積額	— 千円	29年度見積額	230,668 千円
歳入		27年度決算額	— 千円		歳出	27年度決算額	86,118 千円							
		28年度予算額	— 千円			28年度予算額	79,457 千円							
	29年度見積額	— 千円	29年度見積額	230,668 千円										

6 29年度予算で、どのように対応したか 拡大・充実 <u>見直し・再構築</u> 移管・終了 その他 ○ 経費の精査を行った上で、モデル事業として所要額を計上する。						
<table border="1"> <tr> <td>歳入</td> <td>29年度予算額</td> <td>— 千円</td> </tr> <tr> <td>歳出</td> <td>29年度予算額</td> <td>87,801 千円</td> </tr> </table>	歳入	29年度予算額	— 千円	歳出	29年度予算額	87,801 千円
歳入	29年度予算額	— 千円				
歳出	29年度予算額	87,801 千円				